

島根大学ジオパークプロジェクトセンター
令和元年度 第2回探訪会

ジオと近代化

- 千本ダムの場合 -



2019年 10月12日(土)

9:30 ~ 16:00

■ 料金 100円 (保険料) ■ 定員 40名 ■ 申込締切 10月10日(木) ■ 集合場所 島根大学正門前

■ 当日の探訪コース (島根大学のバスと徒歩で巡ります)

大学→①三刀屋石 (大東花崗閃緑岩) 露頭見学→②忌部浄水場研修室でお昼→
③千本ダムの歴史・PSアンカー工事の概要・浄水場見学→④千本ダム工事現場見学

お申込み・詳細は裏面をご覧ください



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

主催 島根大学ジオパークプロジェクトセンター
共催 島根半島・宍道湖中海 (国引き) ジオパーク推進協議会 / 島根大学総合博物館アシカル
協力 株式会社 藤井基礎設計事務所 / 松江市上下水道局
後援 モニュメント・ミュージアム 来待ストーン



内 容

「ジオ」は「地球」や「大地」という意味で、ジオパークでは、ツアーなどを通じて私たちが住む地域や地球の楽しみながら学ぶことができます。松江市・出雲市をエリアとする「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」では、貴重な地質地形遺産と、その上に根付いた「出雲文化」のつながりを感じることができます。

島根大学ジオパークプロジェクトセンターでは、定期的に現地探訪会を実施し、地域の皆様とこの地の魅力を再発見する機会を設けています。令和元年度第2回目の現地探訪会では、日本の近代化産業と地質のかかわりをテーマに、耐震補強工事が始まった土木遺産・登録有形文化財である「千本ダム」を見学します。

日本近代化において、地質学は大いに貢献しました。鉄道・道路建設、トンネル工事など、地質調査と近代化は密接に関係しています。千本ダムは山陰初の近代水道施設として大正8年に完成しました。調査には内務省のお雇い外国人 W.K. バルトンが関わっています。外観は地元宍部で産出する「宍部みかげ(大東花崗閃緑岩)」が使用され、当時の土木技術が駆使されています。今年8月より耐震補強工事が始まりました。

当時の工事でも使用されている島根の銘石の一つ「大東花崗閃緑岩(宍部みかげ・三刀屋石)」の特徴や使われ方、松江市民の水源のひとつである千本ダム・宍部浄水場の歴史、また国内初のPSアンカー工法の工事概要をそれぞれの現場と模型などでお話します。当時の技術が現在の新しい技術によって後世に引き継がれていく、そしてそこにジオが密接に関わっていることを学ぶ探訪会です。

参加費：100円(保険代)

案内人：入月俊明・辻本 彰(島根大学ジオパークプロジェクトセンター教員)

藤井俊逸・新宮敦弘((株)藤井基礎設計事務所)

松江市上下水道局

お申込み方法

参加希望の方は、参加者の氏名(ふりがな)・住所・連絡先(電話番号・FAX番号・E-mailアドレス)を明記の上、下の宛先に郵便・FAX・E-mailのいずれかでお申込ください。

下の参加申込書もご利用いただけます。

定 員：40名(先着順。どなたでもご参加できます。)/申込締切：10月10日(木) 必着

お問い合わせ・お申込み先

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060 島根大学 教育学部 自然環境教育専攻 辻本 彰

TEL & FAX 0852-32-9876 E-mail tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp

参加申込書

ふりがな	
氏 名	
住 所	
TEL	FAX
E-mail	